

回覧

認知症のお話
2回シリーズ

南向台 認知症サポーター養成講座 を開催しました

令和4年10月21日（金）南向台ふれあいセンターにて、南向台地区の皆さま向けの講座を開催しました。参加者33名…関心の高さがうかがえます！
参加いただいた皆さん、ありがとうございました。
参加者アンケートを実施させていただきましたので、結果の報告（一部抜粋）とあわせて、当日の様子をお伝えします。

1. どんな方たちが参加したの？

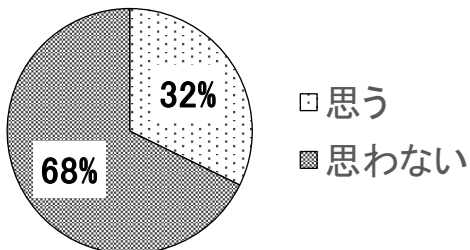
- 🌸 60代～80代まで幅広い年代の方にご参加いただきました。
- 🌸 参加者の半数以上が介護経験はないと回答しています。
- 🌸 約6割が認知症になったら施設で生活することをイメージしていました。



2. 自分や家族、ご近所さんが認知症になった時、どんなケアが必要だと思っている？

【設問】 ご近所の方が認知症になったら声かけや見守りは、専門職に全てお任せした方が良いと思う。

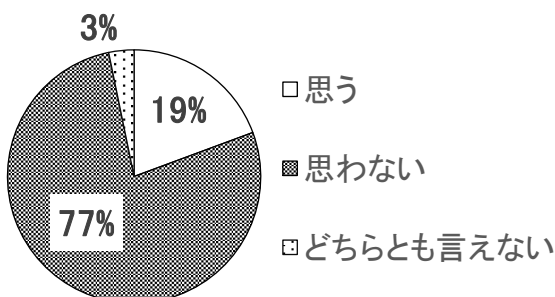
【回答】



認知症の人も、
子どもも大人も…
日頃のあいさつや声かけを
大切にできる地域ですね

【設問】 認知症になったら昔の記憶まで忘れてしまい、何もできなくなってしまう。

【回答】

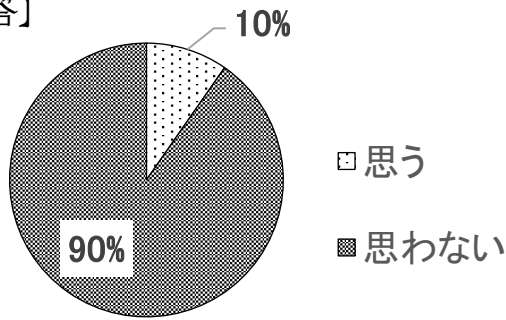


認知症の人は何もわからなくなるわけではありません。
地域や家庭で役割を持つこと
人と話すことでいきと生活
できます

3. 病院への受診について、どう考えるようになったか？

【設問】 病院への受診は、症状が強くなってからで良いと思う。

【回答】

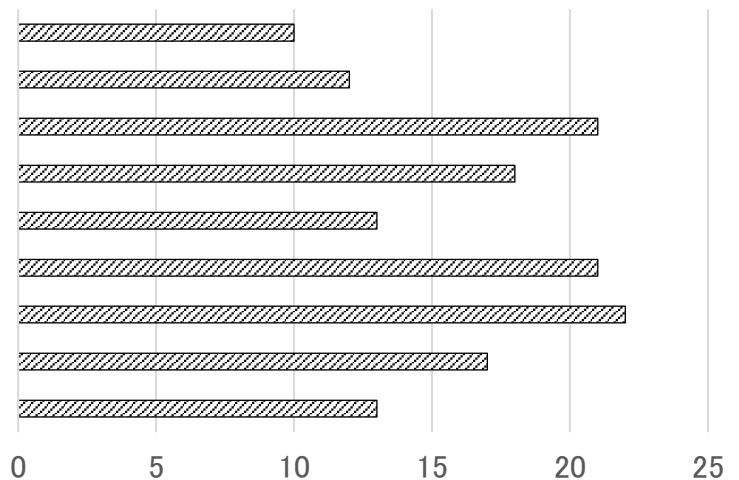


早期発見・適切な対応のためにも気になることがあれば早めの受診・かかりつけ医への相談が大切とご理解いただきました



4. 認知症サポーターとしてできそうなことは？

ボランティア活動に参加する
年に1回脳の検査を受ける
介護者や家族へねぎらいの言葉かけ
誰でもあいさつする
サロンへの参加の声かけ
家族の介護や高齢者の対応に活かす
家族や友人に講座で得た知識を伝える
困っている人へ声かけや手伝い
オレンジリングを身につける



あらためて何かをするということではなく、今までの生活や人とのかかわりの中で自然にできることを実践しようという声が多くありました

「オレンジリング」は、「認知症のことを理解しています」「偏見や差別はしません」というメッセージを本人や家族に送るものです。



腕につけたり、靴につけたり
---身につけましょう！



講座の内容や掲載しきれなかった写真など南向台ふれあいセンターに掲示します♪

